

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

術前の栄養状態が術後の握力変化に及ぼす影響：前向き観察研究の事後解析

1. 対象となる患者さん

主要腹部手術後の回復の質が手術3ヶ月後の生活機能に与える影響に前向き観察研究（受付番号2975（該当される方はすでに資料をお渡ししております））に含まれ握力評価が行われた患者さん。

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 麻酔科 位田 みつる

3. 研究の目的と意義

主要腹部手術後の回復の質が手術3ヶ月後の生活機能に与える影響に前向き観察研究（受付番号2975）を実施した際に患者背景として栄養状態を評価しました。また、同研究を計画した際に着目されていた周術期の握力測定を実施しました。術前の栄養状態は術後感染症などの合併症との関連が多く報告されていますが、身体機能の一つの表現系である握力の回復度との関係した報告は今までにありません。そのため、前向き観察研究で収集したデータを使用して遡及的研究を計画しました。本研究で術前の栄養状態が術後の握力の回復度に及ぼす影響が明らかになれば、術前の栄養状態を改善させることで握力の回復が促進されるかという次の臨床疑問につながるため重要な課題であると考えます。

4. 研究の方法

主要腹部手術後の回復の質が手術3ヶ月後の生活機能に与える影響に前向き観察研究（受付番号2975）の際に収集させていただいたデータを用いて解析を行います。新たなデー

タ取得はありません。

5. 使用する情報

今回の研究に用いるデータはすべて収集済みであり詳細はすでにお渡ししている資料を参考にしてください。お持ちでない場合は本研究の責任者までご連絡いただきますと手配させていただきます。簡単に記載しますと、年齢、性別などの基本データ、手術前に評価した栄養状態と術後7日目までに評価した握力のデータです。

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究の実施体制

該当なし

8. 外部機関への情報等の提供

該当なし

9. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2025年12月31日

10. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

11. お問い合わせ先

位田 みつる

奈良県立医科大学 麻酔科

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840番地

TEL：0744-22-3051（代表） FAX：0744-22-4121（代表） E-mail：

nwnh0131@naramed-u.ac.jp